

## 平成 2 5 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立矢田西中学校 学校協議会

### 1 総括についての評価

- ・生徒・保護者アンケートの結果や学校の状況視察、保護者・地域の意見を総合すると、現在の学校の教育活動に対して肯定的な意見が多く、一定の成果が得られていると確認できる。
- ・特に生活指導面については、肯定的な意見が 8 0 % 以上を占め、落ち着いて学習できる環境になっているといえる。
- ・学習面については、理解度が結果に結びついていない場合もあり、学習内容の定着に向けたさらなる創意工夫や改善することが課題である。
- ・今後、さらに教育活動や教育環境の改善、地域とのいっそうの連携、小中の一貫した教育を推し進め、地域に信頼される学校にする必要がある。

### 2 年度目標ごとの評価

#### 年度目標：【視点 学力の向上】

- ①平成 2 6 年度の全国学力・学習状況調査における知識に関する問題の正答率 7 割以上の生徒の割合を、平成 2 4 年度より 1 ポイント向上させる。
- ②学力診断テストにおける正答率 3 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 2 4 年度より 1 ポイント減少させる。

- ・習熟度別少人数授業や T T 授業の実施、指導内容の精選や指導方法の工夫などにより、基礎学力の定着に努め、成果を上げているものもあるが、まだまだ十分とはいえない。
- ・授業においては、生徒が意見を発表したり、お互いの考えを話し合う場面をつくるなど、生徒の学習する意欲を高める工夫をしており、これが学力面につながることを期待する。
- ・研究授業などの研修を計画的に実施し、教員の授業力を高める取り組みは評価できる。

#### 年度目標：【視点 道徳心・社会性の育成】

- ①平成 2 6 年度の全国学力・学習状況調査における「近所の人に会ったときは、あいさつをしている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 1 % 向上させる。
- ②平成 2 6 年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を平成 2 4 年度より 1 . 5 % 向上させる。
- ③平成 2 5 年度の生徒アンケートにおける「私は、学校内のルール、社会のルールを自然と守っている」と答える生徒の割合を平成 2 4 年度より 2 % 向上させる。

- ・「あいさつ」については、日々の学校生活を通した指導により、きちんとできる生徒が増えてきたことには一定の評価ができる。ただ、校外では、まだ不十分な生徒もいる。更なる指導をお願いしたい。
- ・教育活動のあらゆる場面で、人権教育に取り組んでいるが、生徒に十分な人権感覚が身についているとはいえず、さらに推し進めていく必要がある。
- ・生徒会や部活動の活性化が図られ、それとともに生徒の地域行事への参加も増加している。さらに、積極的な参加を期待している。

#### 【視点 健康・体力の保持増進】

- ①平成26年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における各学年の合計得点を、平成24年度より1ポイント向上させる。(カリキュラム改革関連)
  - ②全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない(あまり食べていない)」と答えた生徒の割合を平成26年度調査において前年度より減少させる。(カリキュラム改革関連)
- ・運動やスポーツに対する意識を高めることには成果があらわれていると思われる。実際に運動する環境を整えるようお願いする。
  - ・食育の推進などは、学校の特色ある教育として定着していると思われ、評価できる。
  - ・喫煙・飲酒・薬物乱用の害についての指導は、継続して実施してほしい。

### 3 今後の学校運営についての意見

- ・体育大会、文化祭、学年行事等で、生徒が主体的に活動するプログラムを積極的に取り入れ、高い評価を得ている。
- ・学校ホームページや矢田西中だよりなどを利用して学校公開に努めているが、さらに地域との連携を進めていく必要がある。
- ・一小一中の利点を生かして、小中連携をさらに推し進めていかなければならない。
- ・読書習慣の定着に努力してもらいたい。また、図書館の有効活用、読書活動の充実をお願いしたい。